

元気アップ仙台天命塾 351回 オープンセミナー  
澤野大樹 仙台セミナー第28章

# 『南朝カバール世界最終局面へ in 仙台』

【講演へのメッセージ】 澤野 大樹

さあ、前回の仙台天命塾講演会(1/13)では、『2020年に向けて～あなたは歴史の目撃者となる！！』というタイトルでお話いたしました。徳川260年の安寧を支えた「平将門怨霊ポジティブ変換システム」が明治維新によって破壊され、江戸の北斗七星の柄杓は機能しなくなりました。そして、山手線が敷かれ将門封印は一層強化され150年に亘る「近代」が花開いた。

しかし、いつしか何者かによって業平橋には「大樹」が建てられ日光家康霊廟からのパワーが江戸に再び供給されるようになった。それに呼応するかのごとく、山手線に新駅「高輪ゲートウェイ」が建設され、明治以降の「近代日本」の中心である東京を維持してきた将門封印の結界は破れた。それと同時にオリオン座ベテルギウスが大幅な減光となり結界に綻びが生じた。

それによって封印されていた「三ツ星」(三つ石)、つまりミシャクジも同時に解放された。将門の封印が解かれたということは、九段の築土神社の封印も同時に解かれたということ。となると、築土神社を封じてきた靖国による強大な結界にヒビが入ったということになる。となると、靖国に封印されていた246万6千柱の英霊が世に解き放たれたことになる。江戸、関八州を司る平将門が放たれ、同時に246万柱の英霊がそれに付随した。

かつてパリ16区、セーヌ川に架かる「アルマ橋」の「自由の炎」(Flamme de la Liberte)からニューヨークに転送されたプリンセスの魂は、「NYから現れる瀬織津姫」として自由の女神にインストールされ、その理念、魂はトランプ大統領に引き継がれた。そして、当の瀬織津姫の本体は巨大な弁天島として巨大クルーズ船が「セイレーンの魔女」として横浜大黒埠頭にダイナミック入国を果たした。2018年9月4日に台風21号とともに関西国際空港の空港連絡橋にタンカーで突っ込んでくるというダイナミック入国を果たしたのに続いて2度目のことである。これによって関西国際空港は巨大な「弁天島」としてしばらく日本列島に鎮座していたのだ。

さあ、今、すべてをアラハバク「均衡」のプログラム「瀬織津姫」が日本に戻ってきた。世界を巡り、フランスのノートルダム寺院も巡り、日本に帰還した。——まさに「王の帰還」だ。これからその王はミシャクジと統合し、平将門、そして246万の英霊、その他無数の名も無きすべての「怨霊」を率い、この世を徹底的にアラハバクしていくこととなります。「怨霊」にオーバーシャドウされたウイルスは明確な意思を持っている。これまでずっと封印され、居なかったことにされ、無視され、蔑ろにされ、馬鹿にされ、言いたいことも言えず、やりたいこともやれず、ただ打ちひしがれたように踏みつけにされてきた「名も無き魂」が今、こうして「落とし前」をつけに咆哮し首をもたげた。——さあ、戦えるものなら戦ってみなさいよ！みなさんのお越しをお待ちいたします。

澤野大樹（さわの・たいじゅ）さんのご紹介 1971年東京生まれ

INTUITION <http://www.intuition.jp/>

日本大学芸術学部映画学科卒業。たま出版、たまメンタルビジネス研究所にて、日本のスピリチュアル界の草分け的存在であった瓜谷侑広氏の下で研鑽を積む。独立し、1997年より独自の哲学的視点を綴った『情報誌 INTUITION』の発行が始まる。以来、17年間経った今でもその執筆は続いている。この『情報誌INTUITION』の執筆が、私の活動の基礎中の基礎であり、ここから様々な企画などに派生していくことになる。たま出版時代から、成功法則、思考現実化法、サブリミナル、マインドコントロール、玄米菜食、魔術、超能力開発、ヒーリング、占い、瞑想、自己催眠術、パワースポット、秘密結社、陰謀論など、ありとあらゆることを体験し、そのことを踏まえた上で書かれる『情報誌INTUITION』は、客観的で多次元的という非常に稀有な形態を持っている。執筆している本人に、「これから何を書くのか？」ということに対する明確な意識は存在せず、執筆しながら本人が一番驚き、感動し、喜ぶというこれまた稀有な創作過程となっている。それゆえに、完成された情報誌は、もはや「この世のものではない」と言われている。通常想定される「情報誌」というものとはまったく違い、筆者は、この情報誌の執筆を、ひとつのストーリーを紡ぎ描く手段であると捉えている節がある。いきなり出会った初見では何が書いてあるのかわからない。しかし、じっくり何度も読んでいくうちに、後になってからジワジワと効いてくるという、不思議な感覚を呼び覚ます珍しい情報誌となっている。そんな筆者だが、たまに勉強会や講演会なども行っている。講演は、すべての文言が一字一句逃さずに、講演直前に活字化され、講演原稿として用意される。講演と同時に100%完璧な活字版も完成しているところが大きな特徴である。これまでの講演会は、すべて100%活字で保存されている。また、このインターネット全盛期の現代において、『情報誌INTUITION』は、A4用紙による紙媒体による発行だ。なぜならば、現代においても、国家間の取り決めや条約の調印式は必ず紙の書面に万年筆であるように、歴史に残るものを創造する場合は、紙に記す必要があると考えているからだ。紙ならば1000年経っても残るからだ。『情報誌 INTUITION』をぜひご購入ください。

著書「瀬織津姫システムと知的存在MANAKAが近現代史と多次元世界のタブーを明かす」文芸社

- ・日時： 2020年3月15日(日) 14時半～19時頃 (開場 14時)
- ・会場： あわの里 天命舎  
仙台市青葉区国分町3-9-32 仙台 ATOWAビル5階 022-399-7674
- ・参加費： 7000円 (仙台テンメイ会員以外&当日参加 7500円) 参加費は当日支払下さい。
- ・定員： 20名
- ・懇親会： 講演会終了後、澤野さんを囲んで懇親会を開催します。参加希望の方は申込下さい。
- ・申込み： 参加申込書に記入し、FAX、電話、Emailで申込み下さい。
- ・問合せ： 仙台天命塾 大久保 TEL/FAX 022-279-1024 090-8786-7300  
E-mail [atowa999@gmail.com](mailto:atowa999@gmail.com)  
仙台天命塾 HP <http://genkiup.net/>

仙台天命塾 第351回オープンセミナー 参加申込書

講師 澤野 大樹さん

FAX 022-279-1024

2020年3月15日(日)

氏名		会員	TEL	
E-mail			FAX	
住所	〒			懇親会参加